

おだがいさま

odagaisama

第91号
令和2年
12月1日発行

ご長寿のひけつは？



鶴亀番付 横綱の一人、数え年108歳の
すずきふさこ
鈴木房子さんにお話を伺いました！

◆好きな食べものは何ですか

「なんでも食べる。」とのことでしたが、お刺身と魚（青魚以外）が特にお好みだそうです。

◆どんな仕事をされていましたか

「自転車屋。夫と弟子が戦争に召集されたので自分が一生懸命働いた。」とのこと。一家の大黒柱となって懸命に働いた様子が伝わってきました。

◆ご長寿の秘訣を教えてください

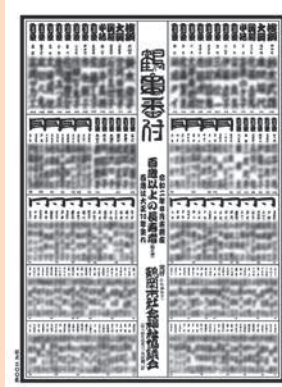
「秘訣なんてないよ。」とおっしゃっていましたが、毎日食事をしっかりと、新聞を読んだり自分のペースで生活することが大切だそうです。

.....
筆談を交えてのやりとりにしっかりお答えいただき、そのはつらつとしたお姿にこちらが元気をいただきました。鈴木さん、これからもお元気で！

◎鶴亀番付とは

鶴岡市社協が平成9年度から発行している市内長寿者の番付表です。ご長寿のお祝いと高齢者の励みにしていただくことを目的に、数え年100歳以上の方を鶴亀番付に掲載しています。毎年、敬老の日に合わせて制作し、長寿者ご本人に贈呈されます。

今年度の番付表には市内200名の方のお名前が記載されました。



次期『鶴岡市地域福祉活動計画』 第2回策定委員会を開催しました

広報おだがいさま第90号（令和2年10月1日発行）でもご紹介しました、次の5年間の地域福祉の推進のための民間の活動・行動計画である『鶴岡市地域福祉活動計画』策定に向けて、各種調査や策定委員会での協議を進めております。



テーマごとに話し合ったポイントを委員会全体で共有しました。

3つのテーマで話し合い
市と市社協合同で11月2日に開催いたしました、第2回鶴岡市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会では、様々な団体の代表の方からお集まりいただき、次の3つのテーマごとに課題や方向性を話し合いました。主な意見を下記のとおり抜粋してご紹介します。他にも各分野から数多くのご意見をいただいております。計画づくりに活かして参ります。

計画づくりの3つのテーマ

1

これからの 見守り・支え合い

<主な意見>

- ・課題を抱えている方をいかに支援につなげるか。アウトリーチによる相談支援が必要。
- ・人と人との心の通い合いが培われるように、幼少期から福祉教育に力を入れるべき。それが見守り・支え合いにつながる。

2

多様な課題への 相談支援

<主な意見>

- ・相談窓口は多くあるが、どこに相談してよいかわかりにくいこともあり、支援者が相談を適切にコーディネートする力が必要。
- ・ひきこもり、社会的孤立の方の居場所づくり、相談窓口を増やす。

3

自然災害や新型コロナ禍 での地域福祉の進め方

<主な意見>

- ・災害時助けが必要な人は小さいエリアごとにきめ細やかに把握すべき。
- ・支え手の高齢化、後継者不足が顕著。
- ・コロナ禍で支え合い活動の工夫をしているが、やはり対面での交流や安否確認が重要。

これまでの取り組み

鶴岡市社会福祉協議会では、他にも現地域福祉活動計画の進捗状況の検証作業や、新たな取り組みとして訪問による聴き取り調査を実施して課題の把握を進めています。

また、10月には市社協ホームページでウェブアンケートを実施しました。多くの方にご協力いただきありがとうございます。

こうした地域の皆さんの声を大切にして次の計画をつくりあげていきたいと思っております。



社協職員によるワーキングでは、前回の計画の達成度など検証作業を行いました。

「知的・発達障がい」を理解する講座

～鶴岡第三中学校一年生の福祉学習～

例年、市内各学校で福祉学習を実施しています。福祉施設を訪問する事前学習として、高齢者の理解や車いす体験等を行っていましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響があり実施できませんでした。そのような中、学校や講師の方々などのような方法だったら実施できるかの話し合いを重ね、新たな方法で福祉学習を行うことができました。

福祉学習とは

地域の高齢者、障がいのある方と接することや、様々な体験学習を通して、社会にはいろいろな立場の人がいることを学び、自分とは違う立場の人と認め合い共に生きていくことの大切さを知るための学習です。

福祉学習での初の試み

令和2年9月9日、鶴岡第三中学校一年生を対象に「花笠ほーぷ隊」を講師に迎え、「知的・発達障がいを理解する講座」を行いました。全国的に、発達障がい等のキーワードが取り上げられることが増えてきていますが、先生も生徒も正しく理解する機会がほとんどありませんでした。



た。知らないことで「誤解」や「偏見」が生まれることもあるため、先生方が話し合い、鶴岡市内の学校では初めての試みとして、上記の内容で福祉学習を行うことになりました。

体験講座の中では、言葉を絵に描いてもらう場面があり、「ちよっと」や「ちゃんと」といった言葉を絵で表現する難しさを体感しました。知的・発達障がい者には「あいまいな言葉ではなく、具体的にわかりやすい言葉で話すとよい」ことを丁寧に説明していただきました。

後日、受講した生徒からは、たくさん感想文をいただきました。花笠ほーぷ隊メンバーの想いや福祉について関心を持つきっかけとなる講座になったようです。

生徒の感想から

- ★色々な見え方、聞こえ方、感じ方もそれぞれ人によって違うこと、自分たちで体験してみることがとても良いことだと思いました。
- ★障がいのある方には、色々なことを手助けするのではなく、優しく見守ることも大切だとわかりました。
- ★障がいについて、家族と一緒に考えていきたいと思いました。
- ★人間だからみんな違うのは当然のことなので、それを受け入れるように心がけていきたいです。

花笠ほーぷ隊って？



障がいのある人も、ない人も地域で楽しく過ごせるような街づくりを願って、「知的障がい・発達障がいの理解啓発活動」を行う団体です。

知的障がいや発達障がいのある人たちの個性豊かな行動や感覚などの障がい特性を、楽しくてわかりやすい「疑似体験」を通して知っていただき、よきサポーター（理解者）となってもらえるような出前講座を県内外各地で精力的に行っています。

コロナ禍での災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行いました！

鶴岡市総合防災訓練

■災害ボランティアセンターとは

災害ボランティアセンターは、大規模災害が発生した際、消防や警察などによる人命救助が行われた後、災害発生後3～4日を目標に市と市社協が協議をして必要に応じて設置されます。被災地の状況やニーズ（困りごと等）把握、各地から駆け付けてくれるボランティアの受付や活動の調整等を行い、被災した方々ができるだけ早く安全で安心な生活を取り戻すことができるように支援活動を行います。

■コロナ禍を踏まえた防災訓練

去る10月11日（日）、鶴岡市総合防災訓練が田川地区で行われました。今年度は、震度6の地震発生を想定し、避難所設置・運営を中心とした訓練でした。併せて行われた「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」では、スタッフとして鶴岡青年会議所、NPO法人鶴岡災害ボランティアネットワークの皆さんに、ボランティア役として田川地区の方々から協力をいただき、ボランティア受付から活動終了までの訓練を実施しました。マスクの着用や、アルコール消毒、検温等を徹底しコロナ禍での対応を含めた防災訓練となりました。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、実際の災害発生時にも、避難会場で感染症予防を徹底しながら対応する場面が想定されます。今回の訓練で経験したことを、今後、「いざ」という時に活かしていきます。



ボランティア受付訓練の様子



段ボールベッド設営にボランティアさんからも協力していただきました

① 情報掲示板

生活福祉資金、緊急小口資金拡充支援資金貸付について

山形県社会福祉協議会生活福祉資金総合支援資金・緊急小口資金（特例貸付）及び、鶴岡市が実施する緊急小口資金拡充支援資金貸付の申込受付期間が12月31日まで延長されました。

ご相談・お問い合わせはお住いの福祉センター（下記参照）まで。

🙏 ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
(令和2年9月1日から令和2年10月31日までのご寄附を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

・鶴岡建設協賛ゴルフ大会 様 91,200円
・山形県退職公務員連盟鶴岡田川支部会 様
タオル503枚

◎藤島福祉センターへ

・曹洞宗山形第三宗務所 第九教区 様
40,000円

★鶴岡市ボランティアセンターへ

・「小さな親切」運動山形県本部 様
車椅子1台

★鶴岡地域生活自立支援センターへ (就労準備支援事業へ)

・鈴木 貞子 様 30,000円

★くしびき東部保育園へ

・澁谷 直樹 様 雪若丸 計103kg

★鶴岡市高齢者福祉センターおやまへ

・本間 和正 様 30,000円
・(有)ヒエヌキ 様 玉ねぎ20kg 1箱

・秋山農園 様 ジャがいも
(メークイーン、きたあかり) 2箱

・(有)九上工藤商店 様 豚バラ肉1kg 1箱

・(有)ヤママル成澤水産 様 ホタテ3kg 1箱

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

・本間 清 様 30,000円

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

・特定非営利活動法人 日産労連NPOセンター
ゆうらいふ21 様 人形劇公演の資料 1部

★もみじが丘へ

・今野 克夫 様 古布地30枚

★障がい者福祉事業所へ

(鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま
及び もみじが丘へ)
300,000円

・田村 光子 様

★訪問介護事業所へ

・阿部 弘 様 収納ラック1台

★フードバンクへ

・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
山形テクノロジーセンター 燦活動 様

食料 約470点

・匿名 様 精米30kg 2袋

おだがいさま

第91号

令和2年12月1日発行

発行部数 48,800部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる 2階)

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>



鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。